

CCSLOAD と LOAD-N-GO のインストール

1. CCS ソフトウェアを CD、又は、ダウンロードしてものからインストールして下さい。:
<http://www.ccsinfo.com/downloads.php> から CCSLOAD (Windows Version)
又は、CD-ROM の ccsload フォルダのなかの setup_ccsload.exe

これらのソフトウェアのデフォルトのディレクトリは CCS のコンパイラと同じディレクトリです。もし、CCS コンパイラをご使用の場合は同じディレクトリを使用して下さい。

ハードウェアのセットアップ方法はデバイス・プログラマによって違いますので、下記の詳細をご覧下さい。:

2. もし、USB インターフェースのデバイス(プログラマ)をご使用の場合は、ウィンドウズ USB ドライバをインストールして下さい。CD 又は、下記よりダウンロードして下さい。:
<http://www.ccsinfo.com/downloads.php> から
Download USB Drivers for ICD-UXX/Mach X/Load-n-Go/PRIME8 (Windows)
又は、CD-ROM の USB-Driver フォルダのなかの usbdrivers.exe

インストールの前には決してプログラマは接続しないで下さい。*ハブは使用しないで下さい。
CCSLOAD と USB ドライバがインストールされましたら LOAD-n-GO を PC の USB ポートに接続して下さい。下記の右端の緑色がデバイスの認識中を示しています。

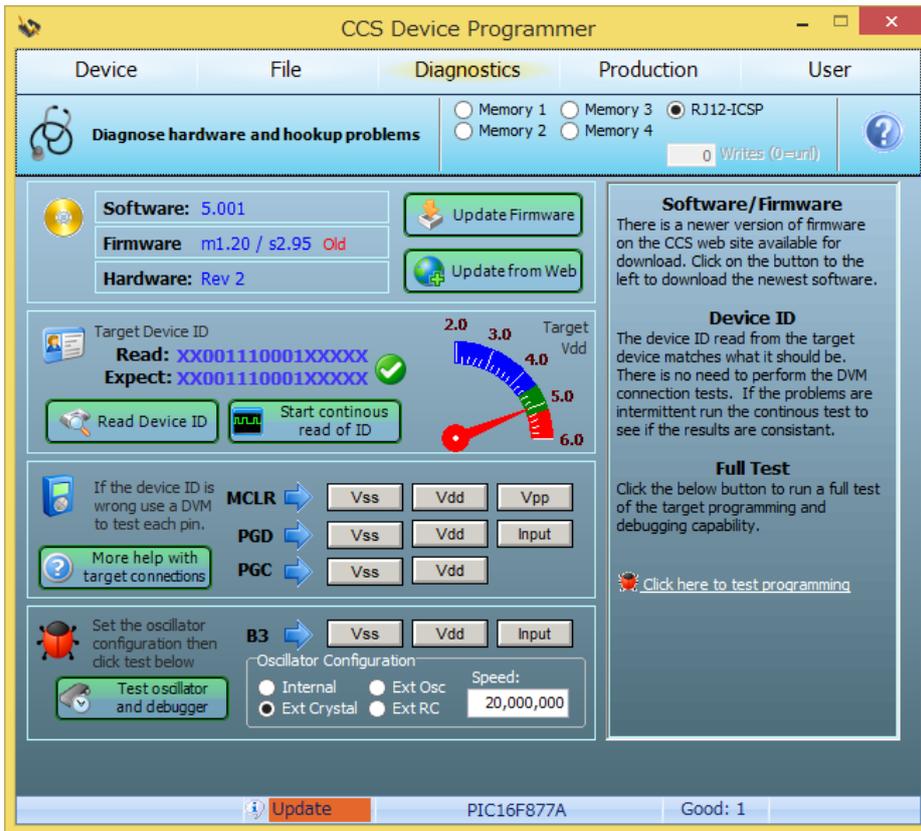


CCSLOAD のアイコン  をクリックして CCSLOAD を立ち上げ状態を確認しておいて下さい。

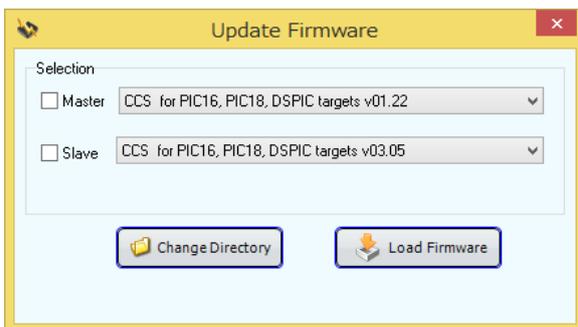
画面の左下に Connecting と現れて、薄緑色のバーが左右します。

例) デバッガとして使用する場合は RJ12-ICSP のボタンをクリックしておいて下さい。

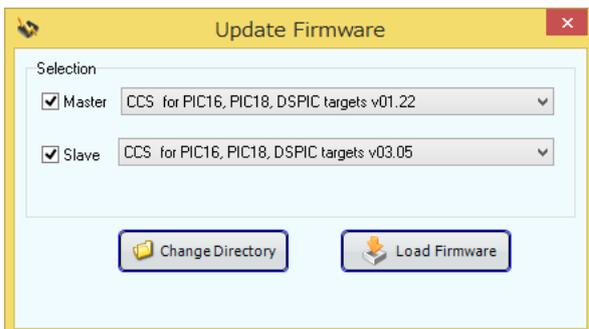


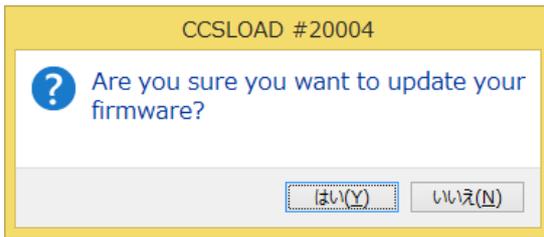


ファームウェアが古い場合は、Update Firmware  をクリックしてファームウェアのアップデートを行って下さい。

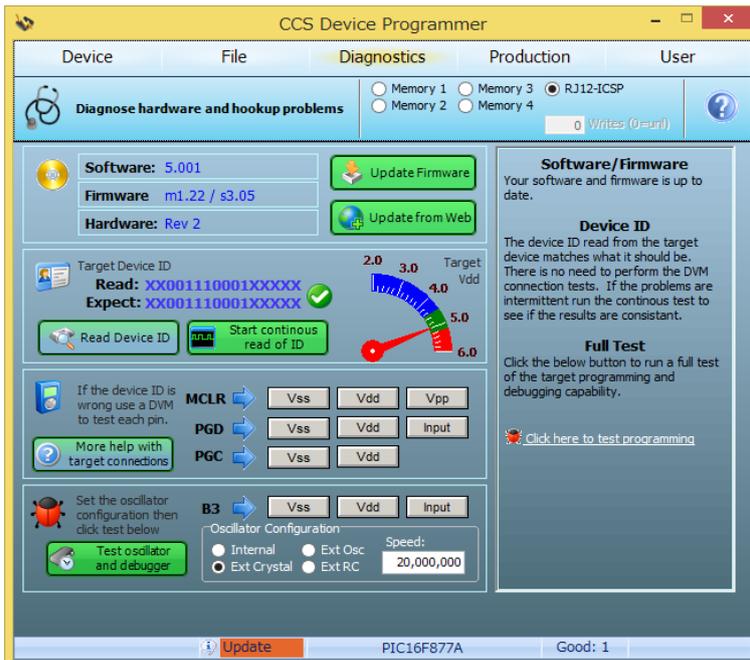


Master と Slave にチェックを入れて Load Firmware をクリックします。

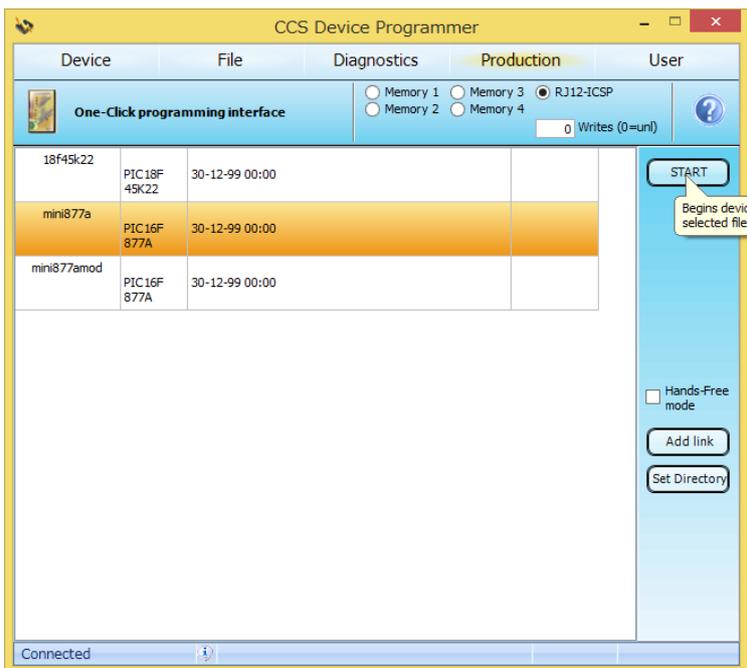




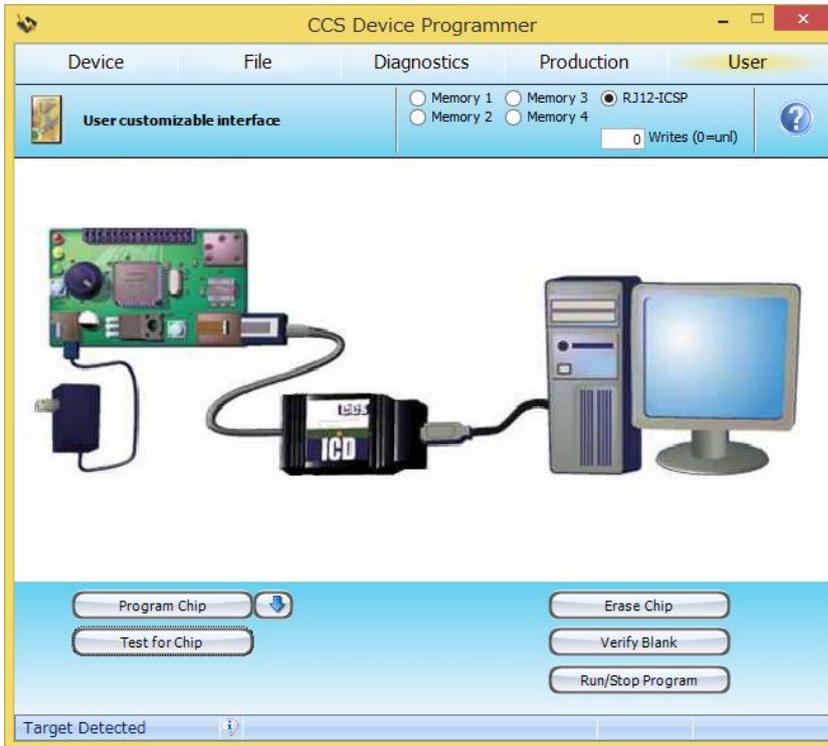
%はいをクリックしますとアップデートが始まります。ファームウェアのロードには暫く時間が掛りますが、下記のように Firmware が例) m1.22/s3.05 に変わります。



これでファームウェアのアップデートが終了しました。



User をクリックすると下記の画面になります。



Test for Chip でターゲットとの接続をテストすることが出来ます。下記の画面のように Target Detected と表示されます。

有限会社データダイナミクス及び、その取扱メーカーは製品及び、部品の出荷時に損傷があった場合はお取替えさせていただきます。

又、出荷より1年間は下記の場合を除き無償で修理致します。但し、別記されている場合は保証の限りでは有りません。

変換 IC ソケットは2週間以内、センサーやケーブルは6ヶ月とさせていただきますのでご了承ください。

■ 次のような場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます

- 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- 破損、汚損、水濡れ等の偶然な事故による故障及び損傷
- 消耗部品の自然な消耗、劣化による故障及び損傷
- 地震、水害、落雷、その他の天災地変及び、火災、異常電圧、通信回線の異常等を含むその他の外部要因による故障及び損傷
- 本来の目的以外に使用されたとき
- その他、弊社の判断に基づき、無償保障が認められない場合
- 日本国内においてのみ有効

上記を含む使用後に発生した損失や損害についてその使用上の責任は一切、CCS Inc. 及び、有限会社データダイナミクスは責任を負いません。
商品を受け取り、開封の上使用された場合は、上記の免責事項を承諾されたものと致します。